

▲アマダイの当日最大は40センチジャスト

相模湾真鶴港出船

撮影◎鈴木良和

▼アマダイのポイントではアカボラ(ヒメコダイ)やトラギス、レンコダイ(キダイ)などのゲストも頻りに上がった

港前の近場で華やかにリリース釣り 真鶴のオニカサゴ&アマダイ好況



▲オニもアマダイも釣り方はまめな底ダチの取り直しと誘いが肝心
▲アマダイは大半の人が3尾前後



▲オニカサゴは小ぶりでも美味
▶良型のキントキも上がった



▲アマダイのアベレージは35センチ前後
▶真鶴沖の水深80メートル付近を流した
▼アヤマカサゴもおいしい魚



▲オニカサゴとフサカサゴの一荷

▲仕掛けはオニカサゴ、アマダイともにテンピン式2〜3本バリ。オモリは前者が100号、後者が60〜80号。船代に含まれるエサはサバの切り身とオキアミ



▲カンコ(ウツカリカサゴ)も多数

り賑やかな一日を過ごせた。
当地のオニ&アマダイは2月も期待十分。一挙両得のおいしいリリース釣りを満喫しよう。
(詳細は56ページ参照)

冬に人気が高まる釣り物にも色々あるが、相模湾で佳境を迎えているのがオニカサゴとアマダイ。
真鶴港の「ふみ丸」ではこの2種のリリース釣りが冬の人気メニュー。オニカサゴ、アマダイともに釣り場は港から航程10分ほどの真鶴沖80メートルルダチが中心で、急深な海底地形を擁する当地は驚くほど岸から近いポイントで両魚を狙えるのが特徴だ。
午前船に乗り込んだ取材日は、早朝の3時間ほどオニカサゴを狙ったのち、アマダイに転進。いずれも30〜40センチ級の釣りごろ食べごろサイズが上が



▶真鶴沖は冬の西風にも強く出船率が高いのも特徴

◎相模湾真鶴港・ふみ丸
松澤 史雄船長